

長崎地本だより

発行所
自衛隊長崎地方協力本部
長崎市出島町2番25号
TEL 095-826-8844

地本創立63周年記念行事

11月28日(水)、長崎地本は、長崎市内のホテルにおいて、「自衛隊長崎地方協力本部創立63周年記念行事」を開催しました。まず、感謝状贈呈式では、地本の活動に対し日頃よりご協力を頂いていらっしゃる方々に対し、本部長から感謝状と記念品を贈呈しました。記念式典では、長崎県知事代理 上田裕司副知事をはじめ、県内外の各自治体・企業等・協力諸団体及び各部隊長など、約200名の来賓のご臨席を賜り盛大に挙行いたしました。本部長は、式辞におい



て、人的基盤の充実・強化が果たす役割の重要性を述べるとともに、来賓の方々にも感謝を、より一層のご協力を、お願いしました。また、部員に対しては、「誠心誠意、創意工夫、知識を出し、最後まで諦めない。いわゆる、地本魂をもつて一丸となつて乗り越えよう」と激励しました。来賓挨拶では、上田副知事から、地本部員の日々の活動に対し、心温まる激励の言葉を頂きました。祝賀会においては、三浦正司長崎地本OB会会長から主催者挨拶



の後、宮内雪夫長官防衛議員連盟会長からご挨拶を頂き、内外から多くの公募により選考した長崎地本マスコミ「ト一なかりん」とデザイン提供者の工藤様の紹介を行い、終了し、盛会の内に終了しました。(総務課)

島原工業高校インターンシップ受入



長崎地本は、11月19日(月)21日(水)、長崎県立島原工業高校2年生11名に対し、インターンシップを支援しました。1日目は本部において自衛隊の概要説明、基本教練と小型トラックの点検を体験。2日目は大村駐屯地において武器、会計、衛生、通信等の職種研修と体験、3日目は護衛艦「あさゆき」に乗艦しての艦「あさゆき」に乘艦してのカレー喫食、艦内の研修等を行いました。特に整備大隊普通科直接支援中隊の整備工場と護衛艦「あさゆき」における就業体験が印象に残ったようです。最後に参加者全員に、インターンシップ修了証と長崎地本メダルを授与し、参加者からは「自衛隊を身近に感じることが出来た」「自衛隊にはいろんな職種があつてすごい」といった声が聞かれ、充実したインターンシップとなりました。(募集課)



投稿 県家族会が防衛講演会を開催

長崎県自衛隊家族会(会長 長崎県自衛隊家族会(会日 浦田正)は、11月15日(木)、長崎インターナショナルホテルにおいて、防衛講演会を開催しました。



本行事は、長崎県自衛隊家族会女性部(女性部長 井上和子)の主催で、今回は県内各地区から会員約120名が参加し、講師に海自第22航空群司令の岡田真典海将補を迎え、「最近の我が国周辺情勢とこれからの海上自衛隊」をテーマに周辺諸国の情勢、海上自衛隊の人的基盤の状況や女性自衛官の活躍、新装備の説明などを講演いただきました。会員は貴重な内容に熱心に傾聴しており、講演後の質疑応答も活発に行われ、成功裏に講演を終了することができました。(長崎県自衛隊家族会事務局)

長崎県自衛隊家族会防衛講話



投稿

「大村航空基地の家族支援態勢の強化」
海自衛隊大村基地と自衛隊協力3団体

第22航空群（群司令・岡田海将補）は、10月12日（金）、長崎県自衛隊家族会大村・東彼地区協議会（前川要次会長）、長崎県隊友会大村支部（北野松市支部長）及び海上自衛隊大村OB会（山崎康之会長）と、緊急事態発生時に支援に関する協定を締結しました。

これは、大規模災害などの緊急事態発生時に、自衛隊の留守家族の安全確認や生活支援など、自衛隊協力3団体と連携して行うと協定されています。

緊急事態などが発生した場合、隊員は家族を気に掛けながら、長期間の活動に従事しなければならず、留守家族は隊員不在となる中で、不安な被災生活を過ごすことになる中、

大規模災害における安否確認等「家族支援活動の取り組み」について、代表2県からの発表と隊友会本部から各県の家族支援に関する協定の締結状況等について説明があり、家族支援に対する課題と対策について情報の共有を図りました。

初日は、別府市内のホテルにおいて行われ、開会行事では九州・沖縄連絡協議会長 山下高憲氏が「隊友会は自衛隊に対する最大の応援部隊として今後とも積極的に活動していきましよう。」と挨拶がありました。研修会では、

研修会に続き、元海上幕僚長 古庄幸一氏による「明治150年海洋立国日本の安全保障」と題する講演が行われ、ご自身の自衛隊経験に基づく海洋にまつわる話に聴講者は聞き入っていました。その後の意見交換会では、大分県知事、各議員の方々と、協力諸団体として西部方面総監を始めた九州沖縄の陸海空部隊指揮官も参加し終始和やかな雰囲気の中、盛会裏に終了しました。

翌日は、玖珠駐屯地において西部方面戦車隊の研修が行われ、駐屯地司令によるブリーフィング、10式戦車・水陸両用車等の展示説明及び体験喫食もあり、自衛隊の活動等について認識を深めました。

研修会に続き、元海上幕僚長 古庄幸一氏による「明治150年海洋立国日本の安全保障」と題する講演が行われ、ご自身の自衛隊経験に基づく海洋にまつわる話に聴講者は聞き入っていました。その後の意見交換会では、大分県知事、各議員の方々と、協力諸団体として西部方面総監を始めた九州沖縄の陸海空部隊指揮官も参加し終始和やかな雰囲気の中、盛会裏に終了しました。

翌日は、玖珠駐屯地において西部方面戦車隊の研修が行われ、駐屯地司令によるブリーフィング、10式戦車・水陸両用車等の展示説明及び体験喫食もあり、自衛隊の活動等について認識を深めました。



（大村航空基地 広報）

隊友会九州・沖縄ブロック
研修会開かれる



長崎県隊友会（会長・江見雅博氏）は、11月17日（土）・18日（日）大分県において開催された「平成30年度隊友会九州・沖縄ブロック研修会」に参加しました。

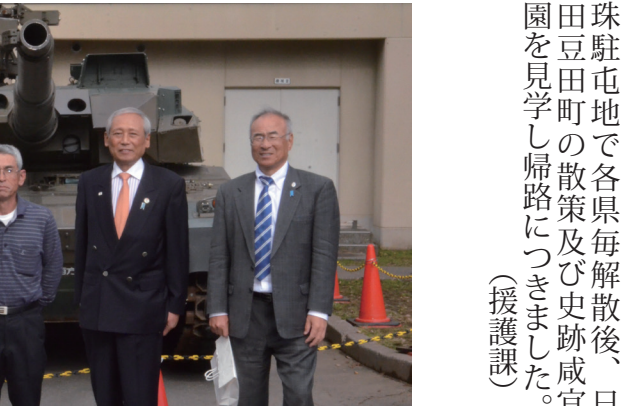
初日は、別府市内のホテルにおいて行われ、開会行事では九州・沖縄連絡協議会長 山下高憲氏が「隊友会は自衛隊に対する最大の応援部隊として今後とも積極的に活動していきましよう。」と挨拶がありました。研修会では、

大規模災害における安否確認等「家族支援活動の取り組み」について、代表2県からの発表と隊友会本部から各県の家族支援に関する協定の締結状況等について説明があり、家族支援に対する課題と対策について情報の共有を図りました。

初日は、別府市内のホテルにおいて行われ、開会行事では九州・沖縄連絡協議会長 山下高憲氏が「隊友会は自衛隊に対する最大の応援部隊として今後とも積極的に活動していきましよう。」と挨拶がありました。研修会では、

研修会に続き、元海上幕僚長 古庄幸一氏による「明治150年海洋立国日本の安全保障」と題する講演が行われ、ご自身の自衛隊経験に基づく海洋にまつわる話に聴講者は聞き入っていました。その後の意見交換会では、大分県知事、各議員の方々と、協力諸団体として西部方面総監を始めた九州沖縄の陸海空部隊指揮官も参加し終始和やかな雰囲気の中、盛会裏に終了しました。

翌日は、玖珠駐屯地において西部方面戦車隊の研修が行われ、駐屯地司令によるブリーフィング、10式戦車・水陸両用車等の展示説明及び体験喫食もあり、自衛隊の活動等について認識を深めました。



珠駐屯地で各県毎解散後、日田豆田町の散策及び史跡咸宜園を見学し帰路につきました。（援護課）

水泳能力測定実施について

長崎地本は、11月19日（月）、海上自衛隊大村航空基地において、平成30年度水泳能力測定を実施しました。

本測定は、海上自衛官に對して、その職務を遂行するために必要とする強健な体力を練成し、併せて健全な精神を育成することを目的としており、年1回以上受検していることが義務付けられているものです。

地本では中々運動する時間をとることは難しい中、思った以上の成果を出した検定となりました。（総務課）



時津町「野田郷秋まつり」再び海軍カレー参上!!

琴海地域事務所は、10月28日（日）、時津町カナーリーホールにおける「野田郷秋まつり」に参加しました。

当日は、自衛隊家族会時津地区会（会長・新井政博様）が心を込めて作った今年度2度目の海軍カレーは、前回より趣向を凝らしたものが提供できました。その甲斐あってか会場には様々な出店が並ぶ中でひとときわ目立ち、用意していた100食は開店から約1時間半ですべて完売する大人気となりました。

自衛隊広報ブースでは時津近隣の皆様と身近に触れ合う事が出来、自衛隊のPRをすることができました。（琴海所）



◆第5級賞詞
「業務改善」
1等空尉 長谷部 隆介

表彰
12月1日付
よろしくお買いします

【転入者】
募集課（企画班長）
1等空尉 柴田 利信

【転出者】
中部航空方面隊司令部
支援飛行隊
募集課企画班
1等空尉 長谷部 隆介

お買物になりました

【配置替え】
援護課
長崎地域援護センター
大村駐屯地援護センター
兼竹松駐屯地援護室長へ
陸曹長 森住 治美
（援護課）
11月17日付

【付配置】
准陸尉 中島 日出登

人事
中島准陸尉